

令和6年9月4日

関係各大学長
関係各大学学長 大学院研究科長 殿

奈良女子大学大学院生活環境科学系長
奈良女子大学 生活環境学部長
鈴木 則子 (公印省略)

奈良女子大学大学院生活環境科学系専任教員の公募について (依頼)

時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび本学系では、下記の要領により教員を公募することになりました。

つきましては、貴学・機関関係者及び関係諸方面にご周知いただくとともに、適任者の推薦についてよろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

記

1. 職名及び人員 准教授または専任講師 1名 (常勤・任期なし)
2. 所属 奈良女子大学大学院生活環境科学系生活文化学領域
3. 専門分野 家族社会学
4. 担当科目
 - 1 学部においては主として文化情報学科生活文化学コースの「家族関係論」「家族関係論演習」、及び応募者の専門領域に合わせた科目をもう1科目担当する。
 - 2 「生活文化学演習」等のゼミの科目
 - 3 生活文化学入門、文化情報学概論等のオムニバス形式の科目を他の教員と共同で担当する。大学共通科目を分担して担当する場合がある。
 - 4 大学院博士前期課程においては生活文化学専攻の関連科目を担当し、同後期課程においては資格審査の後、生活環境科学専攻の関連科目を担当する。
5. 応募資格
 - ① 博士学位の取得者で、とりわけ家族社会学の分野で顕著な業績を有する者
 - ② 研究活動、教育活動に熱心に取り組むことができ、特に女子大学における教育に熱意がある者
 - ③ 大学院において学生の研究活動の指導ができる者
 - ④ 本コースの運営、学内業務に貢献することができる者
6. 着任時期 令和7年4月1日
7. 応募書類 下記の書類を各1部送付してください。

- ①履歴書（様式1）
- ②研究業績書（様式2）
- ③主要著書・論文（コピー可、5点以内。送付いただく業績について、研究業績書に○印をつけて下さい。本の分担執筆の場合は、該当箇所のコピーを送付下さい）
- ④これまでの教育・研究・社会貢献などの活動概要（1500字以内）、着任後の教育・研究・社会貢献などの活動方針・抱負（1500字以内）
*SDGs や生活文化学コースの教育・研究方針との関連を明確にして下さい。
- ⑤本人について照会できる方2名の氏名と連絡先

8. 応募締切 令和6年 10月 25日（金） （当日消印有効）

9. その他

- ①応募された書類は原則として返却しません。
- ②必要に応じて面接（模擬授業含む）を行う場合があります。この場合、交通費は応募者の負担となります。
- ③生活文化学コースの概要、生活環境学部ならびに大学院人間文化総合科学研究科については、下記のホームページを参照してください。

<https://seikatsu-bunka.jp/>

<https://www.nara-wu.ac.jp/life/2017/study/index.html>

<http://www.nara-wu.ac.jp/daigakuin/index.html>

- ④奈良女子大学は男女共同参画を推進し、女性教員の採用促進を図るためのポジティブ・アクションに取り組んでいます。
- ⑤給与等は本学支給基準に基づき決定します。ただし、年俸制による採用となります。

10. 提出・問い合わせ先

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

奈良女子大学大学院生活環境科学系生活文化学領域 安藤 香織

E-mail: andok@cc.nara-wu.ac.jp

*封筒表面に「教員公募応募書類」と朱書きし、簡易書留もしくはレターパックプラスで郵送して下さい

*JREC-INでのWeb応募可能

以上